

国保特別会計補正予算は 健康保険証廃止に向けたシステム改修

新上里

No.247

2024年度
6月
議会報告

発行
日本共産党
上里町議員
生活相談は下記へ
くつざわ幸子
34-0644



6月定例議会は、4日から12日まで開催されました。町長提出議案は、条例改正1件、補正予算2件、道路廃止1件の4件でしたが、最終日に工事請負契約の締結、物品購入契約の締結の2件が追加され6件となりました。

町長提出議案は、国保特別会計補正予算に否決が反対しましたが、6件すべて可決されました

◇条例の一部改正「上里町家庭の保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」は、国の改正に伴い一人の保育士等が受け持つ児童の人数を、3歳児は20人を15人に、4歳児以上は、30人を25人に改めるもので、全会一致で可決しました。

◇一般会計補正予算は、国庫・県費と前年度繰越金の2億7914万9千円を歳入に、歳出の中心は定額減税補足給付金事業です。主な支出は、総務費の定額減税調整交付金1億6000万円。民生費の住民税非課税世帯給付金8000万円と、児童手当・子ども

一般会計補正	
歳入 (単位:千円)	
国庫支出金	257,392
県支出金	6,509
繰越金	15,248
歳入合計	279,149
歳出	
総務	184,645
民生費	84,119
農林水産費	9,010
消防費	1,375
歳出合計	279,149

医療費助成システム改修費295万3千円。農業水産費は、上里町地域計画策定支援業務委託料731万5千円。消防費は、第1・2分団の空調機修繕費137万5千円です。1回限りの定額減税のため、事務費やシステム改修費など約500万円の経費が掛かります。物価高騰に追い付かない支援内容であり、改めて駄作が証明されました。しかし、住民にとっては減税と給付であるため賛成しました。

健康保険証廃止の補正予算に反対!

◇国保特別会計補正予算は、100%の特別調整交付金453万8千円で、国民健康保険証の廃止に向けたシステム改修を行うものです。マイナンバーカードの取得は任意であり、任意のカード

に、誰もが必要な医療保険証を強制的に紐づけるシステム改修です。任意であるなら現行保険証の利用も認めるべきですが、国は保険証を資格確認証に変わるとしているため、共産党の否決は反対しました。賛成多数で可決しました。

長崎児童館計画改修工事請負契約の締結

◇児童館と公民館を複合する計画の一貫で、児童館部分493・48平方メートルの改修工事です。廊下等の床シートにアスベスト含有があるため、工事中一時利用が出来ない期間が生じてしまいます。工事期間は25年1月10日まで、2社が応札し横尾建設株式会社に決定。税込みで8300万円です。

消防ポンプ車、物品購入契約の締結

◇消防ポンプ車は、第4分団(神保原)の現車両が21年目に入るためです。特殊車両のため発注してから製造に入るため、来年度の納車になります。金額は3781万8千円です。

便利に使える健康保険証を税金でマイナー保険証に誘導

町のマイナー保険証利用者率は約7・5%

補正審査中の質疑で解ったことは、上里町でマイナンバーカードと保険証を紐づけている方は、加入者の58%(全国平均60%)であり、窓口での利用状況は、7・48%(全国6・5%)とのこと。カード取得は増加していますが、利用状況は1割にも満たない状況です。

今度は、支給金でマイナー保険証利用者増へ

全国的に利用が伸び悩んでいる中、国は5月から7月をマイナー保険証促進月間とし、医療機関に対し、窓口での声掛け等でマイナー保険証の利用者数を増やした場合、診療所の支給金は最大で10万円を20万円に、病院には20万円を40万円に倍増しました。国民には2万円のポイント付与でカード取得を迫り、医療機関には支給金(税金)で利用促進を迫っています。

トラブル続きのマイナー保険証

マイナー保険証

未だにカードリーダーの読み取りトラブル、カードの偽造事件、なりすまし被害が拡大しています。トラブルが起きてからの対応では、漏洩した情報も失った財産も戻りません。税金で個人情報漏洩の危険があるものを強行することは問題です。

現行保険証の存続を! 「資格確認証」が発行されます

保険証が使えなくなることや心配する声もありませんが、現在持っている保険証は、有効期限まで使用できます。また、それ以降は「資格確認証」が使えますので、慌てないことです。現行の保険証は、申請をしなくても有効期限が切れる前に郵送され、無保険状態をつくらない優れたものです。

一方で「資格確認証」は申請が必要になります。安全に医療を受けられる現行の保険証を存続すべきです。



ごみ減量の実現にはプラスチック類の早期回収開始が必要

6月議会 杓沢幸子の一般質問

地球温暖化対策について



町の第2次環境基本計画は、21年度に中間見直しを行い、国に合わせ、温室効果ガスの削減目標を、13年度比で26年までに35・2%、30年までに46%とし、社会状況の変化に対応し見直すとしていました。

温暖化が加速していますので、目標の引上げが必要です。ごみ減量（焼却を減らす）のカギは、プラスチック類の回収を開始することです。

ごみ減量目標の達成は、難しい現状

杓沢 町の環境基本計画の、ごみ減量計画の現状は。

町長 穏やかに減少傾向であるが、現状のままでは目標達成は難しいので、途中での見直しを行わずに令和9年3月予定の第3次環境基本計画で全体の見直しをする。

広域圏でのプラ回収検討進まず目途立たず

杓沢 プラスチック（以後プラ）資源循環促進法にもとづく、プラ製品の児玉郡市広域市町村圏組合の開始時期と課題の検討状況は。

町長 引き続き、保管場所やストックヤードがなく、収集、運搬、分別に係る人員確保や委託業者の選定などが必要であること、国等への要望を視野に検討している。（検討が全く進んでいないことが解った）

杓沢 ごみの減量は、プラ回収に係っている。3年以上も検討が進まない保管場所について、広域で1か所を検討しているのか。それ以外に各市町で検討する議論をしていないのか、広域圏の検討は開始の期限を切っているのか。

町長 広域圏では、ごみ排出について多少温度差がある。いつまでという具体的なことも明示できない。しかし、各市町でストックヤードを検討すること、私の方で提案したい。

町のプラ回収を増やせないか？



杓沢 広域の回収に先駆け、町が独自で小型家電と一緒に実施しているプラ回収の状況と費用は。

町長 昨年10月と今年5月で4820kgを、近隣のプラ回収事業業者に無償で受け入れてもらい、プラ製品材料として活用された。今後も継続的に実施する。

杓沢 小型家電回収と離して、プラ回収の回数を増やせないか。

町長 ストックしておいて、業者さんの受け入れ能力もあるが、「町内にプラのストックヤードが出来るか検討してみる価値があると思った。」

（業者から、来年度は費用負担がかかる可能性を示唆あり）

杓沢 製品プラの他に菓子袋など包装プラの回収や、洗剤等の量り売りについて各店舗への協力要請を。

町長 町内の量販店等を含め、プラごみの受け入れポストをお願いすることはできる。

二酸化炭素削減に向けエコ家電補助を！

杓沢 二酸化炭素（温室効果ガス）削減に向け町が強化する課題については。

町長 国（町も同じ）の目標値は最低限の基準であり、高みを旨とする必要がある。町として更なる補助制度の支援策も含め、脱炭素化の周知、啓発に努める。

杓沢 さいたま市が国の交付金を活用して行った、省エネ家電買い換えキャンペーンが好評だったとのこと、町でも実施を。

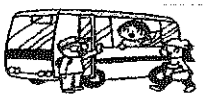
町長 活用できるものがあれば検討していく。

住宅リフォーム助成制度拡充で節電応援を！

杓沢 物価高騰、電気代の値上げで節電対策として住宅の断熱化の関心が高まっているため、断熱を含む高額な改修工事には、上限5万円補助の引上げの検討と、世帯当たり1回の利用を、

地域公共交通形成計画について

令和7年度から11年度の5か年計画年



町が来年度から実施する次期公共交通形成計画（案）が3月に決定しました。

次期計画は、中央ルート（の定時定路線バスを残し、北部・南部ルート（のバスは廃止して、デマンドタクシーに切り替えます）。

また、利用料金は、バスは200円。タクシーは、一回乗車につき300円が示されています。利便性を含め安心して利用できる計画かどうか、住民説明をし、広く意見を聞く必要を感じます。

何年ごとに再度利用できる制度に見直せないか。

町長 補助上限額の引き上げの意見もあるが、広く平等に利用頂くことを優先している。利用者の色々な声を聴きながら検討したい。

※「幅広く平等に」は、もっともですが、制度は発足から20年ほど経過し、再度リフォームの必要も出ています。

また、この制度は地域業者の活性化にもなり、例年希望が締め切られるほど好評です。

節電・エコ対策としても重要であるため、杓沢は、予算の増額も含めた拡充を継続して提案しています。

次期公共交通は住民に喜ばれるものに！

杓沢は、次期公共交通計画は、住民から意見や要望で変更できる次期の住民説明を。定時定路線バスの町民意識調査で要望が高かった、利用したい時間帯の運行を増す検討や、日曜運行をすることで、定休日は何曜日になるのか。デマンドタクシーは、停留所を210カ所（約150区間隔）とする案だが、利用者は高齢者が多く、限りなくドア・to・ドアに出来ないか。割引料金の検討状況は。高齢者お出かけサポート、重度心身障がい者福祉タクシー利用料金助成は、年28枚であるが、デマンドタクシーをプラス出来ないか等について質問しました。

町長は、現在、運行事業者やデマンド交通システムの選定作業中です。調整が整い次第、町主催の説明会や研究会等の場を活用し、9月広報で報告予定で、詳細は11月ごろパブリックコメントを実施する予定とのこと。

◆デマンドは初導入のため、年明けから地区公民館で説明会を開催し、利用登録、予約サポート等、丁寧な周知に努める。◆割引制度や定期券、回数券導入など過度な負担とならないよう検討するが、11月以降の決定となる。

◆障がい者等福祉タクシー件は、現状使いきる利用者は少ないが、今後拡充を希望する声が多数あれば検討したいとの答弁でした。